

沿革の概要

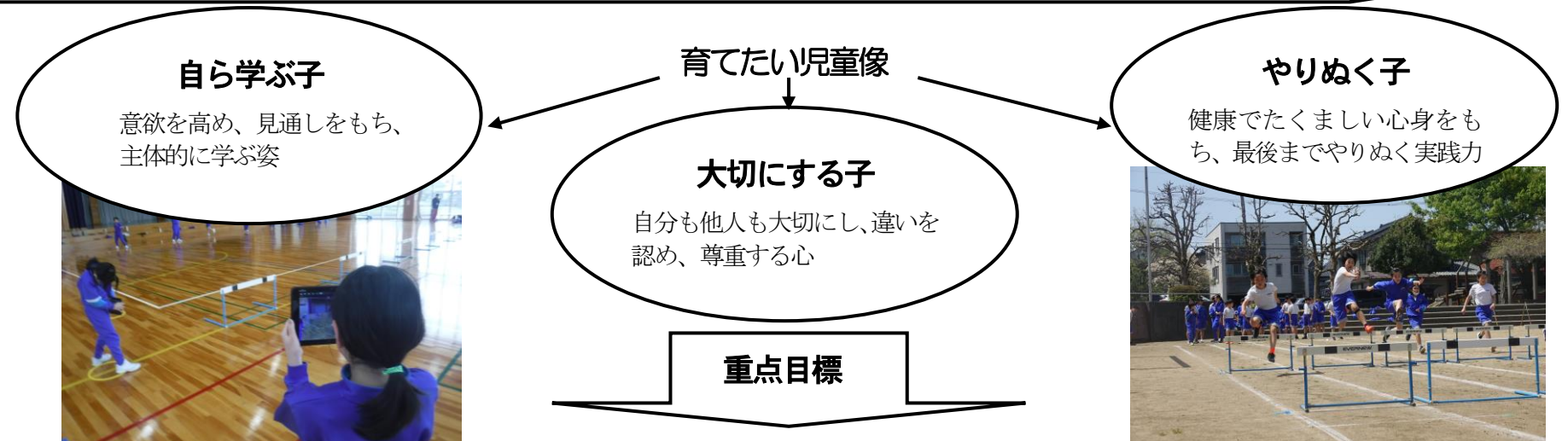
明治 6. 6. 12	入膳小学校 創校 和泉十兵衛氏宅 (旧役場跡)
7. 7.	自卑小学校と改称
20. 4. 1	自卑尋常高等小学校と改称
23. 4. 1	入善尋常小学校と改称
25. 10.	成器高等小学校と改称
27.	入善尋常高等小学校と改称
43.	校歌制定
昭和 11. 1. 10	全校舎焼失 (講堂のみ残る)
12. 6.	現位置に校舎を建築、講堂移転
16. 4. 1	入善国民学校と改称
22. 4. 1	入善町立入善小学校と改称
28. 6. 12	創立 80 周年記念式
30. 6. 12	校舎改築第 1 期工事竣工式
31. 6. 12	校舎改築第 2 期工事竣工式
37. 8.	給食室増築第 1 期工事落成
38. 6. 12	創立 90 周年記念事業
45. 11. 4	学校給食優良校表彰 (県教委)
46. 2. 7	日本水泳優秀校表彰 (県教委)
47. 12.	校舎第 3 期工事竣工
48. 6. 12	創立 100 周年記念式
48. 12.	スキー山竣工
59. 4.	国語科研究推進校 (県小教研指定) 60 年度まで 2 年間
平成元 8. 25	新校舎竣工 5,991 m ²
2. 8. 30	グラウンド完成 8,791 m ²
3. 2. 28	体育館棟竣工 1,430 m ²
3. 3. 13	新校舎竣工式
4. 4.	音楽科研究推進校 (県小教研指定) 5 年度まで 2 年間
12. 10. 19	学校給食 文部大臣表彰
14. 4.	学力向上フロンティアスクール実践研究 (県教委指定)
15. 6. 12	創立 130 周年記念式
15. 11. 4	P T A 県教委教育功労者等表彰
17. 11. 22	優良 P T A 文部科学大臣表彰
18. 11. 21	N I E 研究発表会
19. 4.	図画工作科研究推進校 (県小教研指定 20 年度まで)
23. 4.	児童・生徒のボランティア活動普及事業推進校 25 年度まで
23. 4.	親切運動推進協力委嘱校 24 年度まで
24. 4.	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育研究推進校 25 年度まで
25. 4.	「学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業」 27 年度まで
25. 6. 29	創立 140 周年記念式典
25. 10. 25	北陸四県数学教育研究(下新川)大会
27. 11. 3	県教育委員会表彰「近視部門の部 準優良校」
28. 10. 26	平成 28 年度弘済会教育振興助成経営改善奨励助成受賞
29. 7. 3	入善小学校プール竣工
29. 11. 1	健康教育実践優良校表彰「総合の部 努力賞」
31. 4. 1	弱視特別支援学級開級
31. 4. 1	「学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業」 令和 3 年度まで
令和元 8.	大規模改装工事第 I 期開始
2. 6.	大規模改装工事第 II 期開始
3. 6.	大規模改装工事第 III 期開始
3. 12. 28	大規模改装工事終了



目指す学校像 笑顔と学びにあふれ、地域とともに歩む、信頼される学校

学校は、わたしとみんなが育つところ

学校の教育目標 **じりつする子供の育成** — 自ら学ぶ子 大切にする子 やりぬく子 — 自立と尊重



1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善への取組 — 教え上手から学ばせ上手へ —

■新しい教育への対応

- ・現行学習指導要領、中教審答申、GIGAスクール構想等、新しい学校教育の変化を的確に捉え、日常の研修を通して、「学習者主体の学び」への進化に取り組む。

■「主体的・対話的で深い学び」の授業実現に向けて

- ・子供が主体的に学べるよう単元を構想し、ペア・グループでの対話を日常的に取り入れ、教科の見方・考え方を働かせることで「深い」学びのある授業を展開する。

■タブレットの日常的な活用

- ・タブレットの活用を日常化し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現に取り組む。『学び合い』、単元内自由進度学習等の子供主体の学びを取り入れる。

■プログラミング学習

- ・論理的な思考力育成を意図し、各学年、計画的にプログラミング学習を取り入れる。

■家庭学習の充実

- ・子供の学習意欲の向上につながるように日々の授業を充実させ、家庭との連携を図る。

研修主題：問題意識をもって学ぶ中で、自らの学習状況を振り返り、問題解決に向けて考え続ける児童の育成

- ①児童の問題意識を高めるための指導の工夫
- ②自ら学習の状況を振り返り、学習を進めようとする意欲を支えるための指導の工夫

2 学級、学年、異学年での活動を通して、コミュニケーションの量と対話の質を高めながら、温かい人間関係とお互いを尊重する態度を育む。

■日々の教育活動の充実

- ・「自分から進んで」「心を込めて」「自分で考え」挨拶や掃除、後始末に取り組めるよう支援することにより、自尊感情や規範意識を育み、温かい人間関係づくり、学級づくりに努める。
- ・総合質問紙調査等の各種調査や生活アンケート、教育相談等を生かし、一人一人のよさを認め、自己肯定感、自己有用感の育成に努める。

■現職研修の充実

- ・新しい学校教育に的確に対応できるように、校内での「日常の研修」と県の新「研修受講システム」を効果的に活用し、教職員のスキルアップに努める。

■学校行事の充実

- ・前年度の成果と課題を基に、「じりつ」のための具体的取組を通して子供たちと共に創り上げる行事を目指す。

3 家庭や地域社会との連携を深めることで、信頼される学校づくりに努める。

ホームページの充実

- ・日常の子供の様子、子供と教師がチャレンジする姿を積極的に発信する。

メール配信連絡網の確立

- ・(新)安全メールを活用して迅速、確実な連絡及び情報提供を行う。

■家庭との信頼関係の構築

- ・家庭との電話連絡、訪問等の充実を図り、信頼関係を築く。
- ・子供たちのよさを捉え、その発信に努める。

■各種たよりの充実

- ・学校だよりやホームページへの掲載等、情報の発信に努める。
- ・学年だよりにより、より細やかな様子を保護者に伝える。

■各種関係機関等との連携

- ・P T A 活動の充実 ・ 自車同窓会との連携 ・ 学校評議員会の開催と活用 (年 3 回)
- ・ 民生委員・児童委員との懇談 (2 月)

■学校評価の充実・活用

- ・学校評価の結果を生かした学校運営の改善

地域の特色と児童の実態

校区は、町の中心市街地と周辺の農業地帯で構成されている。校区周辺では、企業立地や大型店舗の進出、新興住宅地が増えている。外国人児童も増える傾向にあり、地区住民の生活スタイルが都市化している。また、公共施設(うるおい館、町民会館、図書館、総合体育館、健康交流プラザ、中央公園等)が整備され、活気ある地域でもある。保護者の勤務形態や価値観は多様化しているが、地域住民ともに学校の教育活動に協力的である。

明るく素直で活動的な児童が多い。校内のオープンスペース機能を生かし、一部の学習を学年で実施し、複数の教師の目で一人一人の児童を捉え指導に生かすようにしている。日頃から触れ合いを深めながら児童の内面を理解し、自己存在感や自己有用感を味わえるように家庭との連携も図っている。